

補習等のための指導員等派遣事業（平成27年度予算案:41億円 対前年度8億円増） ～多彩な人材の積極的参加による地域ぐるみの教育再生～

サポートスタッフ（地域のシルバー人材、子育て中の女性、退職教職員、大学生等）の充実 **10,000人（対前年度2,000人増）**

〔イメージ〕



教師業務アシスタント

- ・教材開発・作成など教師の授業準備や授業中の補助などの支援
- ・教師が行う事務業務のサポート
- ・体験活動の実施・計画時における指導・助言



児童生徒学習サポーター

- ・個別学習や課題別学習への対応
- ・補充学習や発展的な学習への対応
- ・小学校における英語指導への対応



多様な経験を持った地域人材等の参加によって、学校の教育力を向上

➡「チーム学校」の構築へ

☆教員とサポートスタッフの連携により、学校教育活動をより充実！

主な補助事業の例(H26年度)

- ・授業における少人数指導と放課後の学習支援の組み合わせによる、**基礎学力の定着**。
- ・児童数の多い複式学級の学力向上のため、教員免許を有する補助員を配置し、2人体制による**きめ細かな指導**を実施。
- ・定時制高等学校など課題を抱える生徒の多い**高等学校**における少人数指導や補習指導による、**学び直しの支援**。

教師力向上支援員

- ・経験の浅い教員に対する指導・助言
- ・個別の教育課題に関するアドバイス
- ・小学校における理科等の教材準備等の補助



進路アドバイザー（高等学校）

- ・進路選択への支援
- ・キャリア教育支援
- ・高等学校と関係機関との連携、調整



学校生活適応支援員

- ・小1プロブレム・中1ギャップへの対応
- ・不登校・中途退学への対応
- ・教育相談、家庭との連携



地域・学校の実情に応じて、その他の専門的な知見を持った人材の参加も促進し、「チーム学校」の構築を図る。

《補助金の概要》

主として学力向上を目的とした学校教育活動の一環として、多様な地域人材を配置する事業経費の一部を補助

○配置人数(予算額):8,000人→10,000人(41億円)【うち義務教育諸学校分:9,000人(37億円)、高等学校分:1,000人(4億円)】

○事業主体:都道府県及び政令指定都市

○補助割合:1/3